Management Club Report

Sept.2014/Vol.141

Monthly Opinion ≪組織化へのリーダーシップ≫

15 周年記念講演が真近に迫って参りました。向の話は、先月号の『歯科医院経営の潮目を読む』の内容を下敷きに、宮原の話は今月号『組織化へのリーダーシップ』をベースに 組み立てております。

これまでにも何回も繰り返し語ってきた『歯科医院の組織化』の内容ですが、今回は歯科医院の組織を構成する女性の活性化を実現するための具体的な考え方と方法について、院長は自らがどのようなリーダーシップを発揮すべきなのか、またスタッフリーダーにはどのようなリーダーシップを発揮してもらうのかについてまとめてみました。

世の中の動きは、長らく続いてきた少子化の影響がいよいよ労働市場に及び出した感がします。更ににわかに活気を取り戻した経済情勢が労働需給にひっ迫感をもたらし、歯科医院にも少なからぬ影響が出始めています。今まで労働条件の改善や職場環境の整備にさほど注力してこなかった歯科医院が押っ取り刀で取り組もうとしている例を見かけるようにもなりました。

付け焼刃的な制度改善だけでは効果十分とは言えません。もっと根本的なところでの組織改革を行っていかないとこれからの時代を生き抜き、活性化していく歯科医院を実現させることは難しいのではないかと思います。女性を雇用する経営者院長の考え方の変革と、歯科医院で働く女性の意識、意欲の持ち方への変革の両方が今、求められているのです。

1 女性はもっと活躍できる

伝統ある学士会での講演会に参加

9 月 10 日、神田神保町の学士会館で行われた『学士会』の夕食会に参加し、**岩田喜美枝氏**の講演を聴いて参りました。私立大学卒業の私に旧帝大卒の集いである『学士会』は無縁なのですが、北海道大学 OB である**森和弘先生**のゲストとして参加させて頂いた次第です。

余談ですが、20 代の頃、駒場の東大グランドで『学士ラガー』というクラブとラグビーの試合をしたことがありますが、タフなジェントルマンの集まりであったことを思い出します。